Zabbix導入事例にみる課題と効果とは

CROSS HEAD

弊社 クロス・ヘッド株式会社の事例
～Zabbixユーザーとして～

CROSS HEAD

事例からみる課題と解決手法

- Zabbixを導入したが効果が出ない
  - Zabbixの機能を十分理解したうえで「監視設計」することが大切
  - Zabbixの機能に合わせた「運用フロー見直し」が鍵
- 何をどう監視するのが正しいか分からない
  - 業務内容や機器構成などを踏まえ経験に基づく判断が必要
- 既に監視はできているが監視内容が一定ではない
  - 適切な監視内容・監視レベルの見極めが必要
- パフォーマンスがでない
  - 無駄な項目を省く、しきい値を見直すなどが必要

導入成功へのポイントは・・・

- 監視設計
- 運用フローの見直し
- 適切な監視内容・監視レベル設定
- パフォーマンス考慮

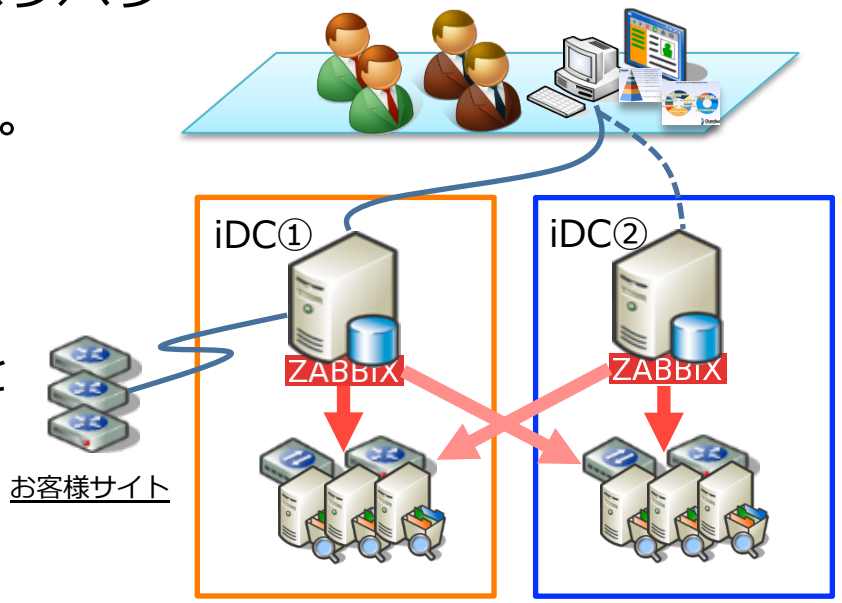
解決の近道は
構築実績豊富なZabbix認定パートナーに相談！

CROSS HEAD

弊社 クロス・ヘッド　事例

■導入の背景・課題

- OSS監視ツールを使用し運用/監視サービスを提供
- Nagios、Cacti、Swatchの各操作がバラバラ
- OSS監視ツールの作り込みも多数実施。
  サポートがなく人依存の管理となり、
  監視設定も複雑を極めていた。
- コスト削減を目指しNagiosの仮想化を
  図ったが上手くいかず、通常監視にも
  支障が出た。



監視ノード数：NW機器 500台
サーバ　300台

CROSS HEAD

Zabbix導入効果

▶運用作業のシンプル化

・Zabbixで監視システムを統一し**シンプルな構成**に。
テンプレート機能やWebGUIにより監視作業がしやすくなり、
人依存から脱却。作業効率も向上した。

▶収益貢献

・新規お客様向け監視サービス開始までのリードタイムが短くなり、
監視要件定義の**精度も向上**。（4ヶ月➡2ヶ月）
利益貢献にもつながった。

～認定パートナーとしての構築事例～

事例１　商用ツール保守コストの削減

事例２　運用業務の効率化

事例３　ご要望に応じたカスタマイズ

事例４　仮想/クラウド環境上でのZabbix導入

CROSS HEAD

事例１　商用ツール保守コストの削減

監視システム集約によるコストの削減！！

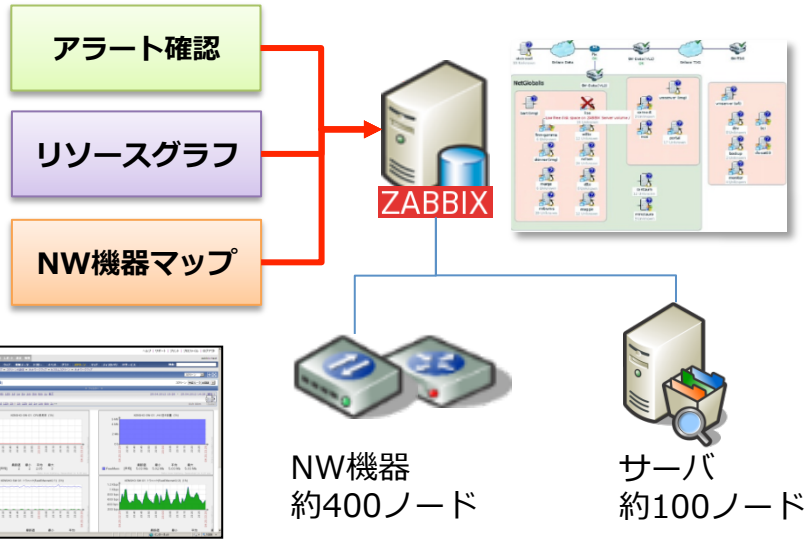
・・・電気設備関連事業者様事例

■導入の背景・課題

○ サーバ監視ツール、MRTG、ネットワーク監視ツールの3種類での管理が煩雑

○ 商用ツールは製品構成・ライセンス体系が複雑で保守費用が高額

○ 既存の監視対象や監視項目が曖昧



■Zabbix導入のポイント／その他の効果

○ ツール管理のシンプル化

・商用を含む３種類のツールをZabbixに集約。
シンプルな構成とすることで作業効率が向上。

○ 運用フローの見直し

・ツール集約のタイミングで、運用フローを見直し、
監視が必要な内容が明確になった。

監視アイテム数：3,000

■監視内容

○ 監視アイテム設定
- CPU、メモリ使用率、ディスク容量
- トラフィック
- プロセス、イベントログ
- 千手と同様のアラート監視
- NNMと同様のマップ作成
- MRTGと同様のグラフ作成

CROSS HEAD

事例２　運用業務の効率化

運用監視業務が効率化されました！！

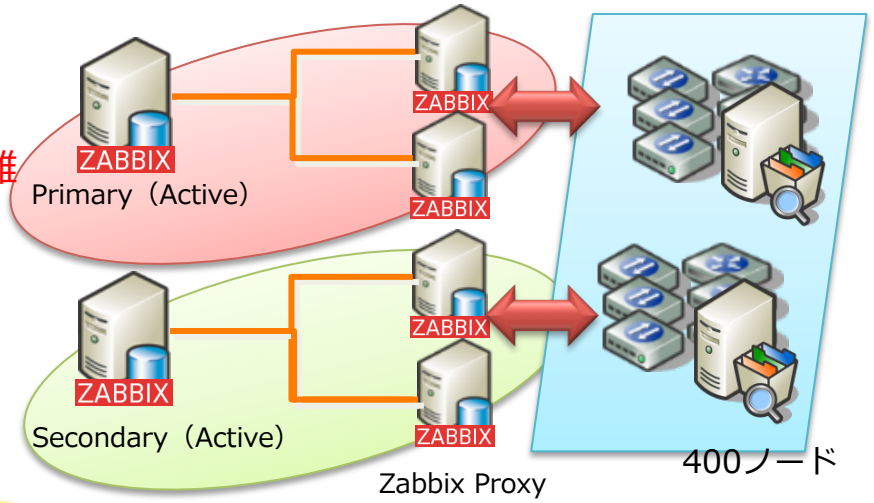
・・・通信キャリア系企業様事例

■導入の背景・課題

○ ２つの商用ツールで運用していたが監視と統計情報取得が別管理になるため、設定追加/変更が非常に複雑

○ 障害発生時に障害の特定に時間がかかっていた

○ 監視項目数が膨大であり、負荷分散の仕組みをとる必要があった



■Zabbix導入のポイント／その他の効果

○ **運用工数の削減**
- 複数の監視システムを一つに統合。
- 想定監視項目をテンプレート化し、設定追加/変更の際の作業負荷が削減された

○ **大規模監視対応**
- Zabbixならオープンソースにもかかわらず、Active-Activeの冗長構成と、プロキシ利用の負荷分散構成を採ることができます

監視アイテム数　100,000

■ 監視項目

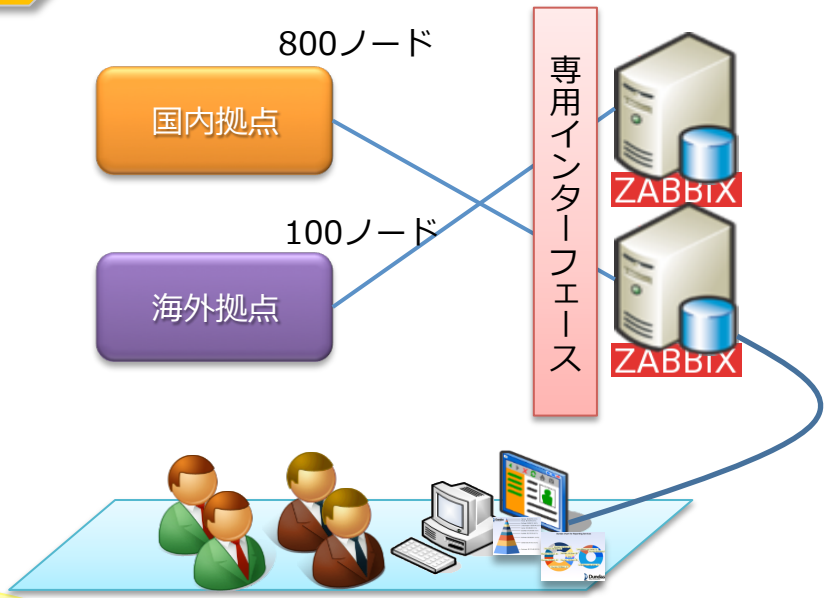
○ 監視アイテム設定
- ICMP監視、トラフィック情報取得
- SNMP Trap
- トラフィックグラフ作成
- NW機器マップ作成
- プロセス、ログ監視

CROSS HEAD

事例３　お客様ご要望に応じたカスタマイズ

カスタマイズのご要望も承ります！！

・・・ITサービス企業様事例



■導入の背景・課題

○ 独自開発のツールで監視しているが、ハード入替に伴いツール再開発が必要。
○ 独自開発のシステムは操作性が悪く、効率が悪い
○ 既存システムの詳細は当時の担当者1名しか知らない
○ 再開発の費用が、非常に高額

■Zabbix導入のポイント／その他の効果

○ **お客様専用インターフェースの開発**
・各拠点管理者様が自拠点のホストを確認するためのインターフェースを自社開発しご提供しています。

○ **運用手順の明確化、人依存からの脱却**
・監視テンプレートの作成、操作レクチャーの実施、パラメータシートの作成により、誰にでも分かる運用手順となりました。

監視アイテム数：24,000

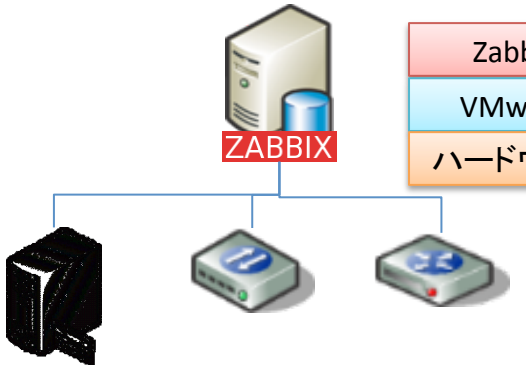
■監視内容
○ 監視アイテム設定
・CPU、メモリ使用率、ディスク容量
・トラフィック
・プロセス、イベントログ
・URL監視
・マップ、グラフ

CROSS HEAD

事例４　仮想/クラウド環境でのZabbix導入

仮想環境での実績もございます！！

・・・電力系設備業者様事例



・200ノード

■導入の背景・課題

○ 導入前はMRTGでトラフィック状況をグラフ化
○ 仮想環境への監視ツール導入をご要望
○ 障害対応の迅速化
⇒MRTGでは取得した瞬間の情報しか表示できない
⇒アラート発報がないため、障害対応の初動が遅い

導入パターン	Zabbixバージョン	動作環境
初回導入	Zabbix 1.6	Xen Server
バージョンアップ	Zabbix 1.8	VMware ESX

■Zabbix導入のポイント／その他の効果

○ **GUIでの設定が可能**
・Nagiosも検討したが管理の容易性でZabbixを選定
※Nagiosはコマンドラインの設定が必要

○ **仮想環境への導入**
・ディスクI/Oの負担が比較的少ないため、
仮想環境やクラウド環境でも動作させることが可能です。

監視アイテム数　500

■ 監視項目

○ 監視アイテム設定
・ICMP監視、トラフィック情報取得
・トラフィックグラフ作成
・NW機器マップ作成
○ 導入後リモート運用サポート

CROSS HEAD

ご清聴ありがとうございました

CROSS HEAD